

円錐角膜の診断・治療のため、当院に通院された 患者さんの診療録情報を用いた 医学系研究に対するご協力をお願い

南青山アイクリニック

このたび当院では、上記のご病気で通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、倫理委員会の承認ならびに院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2007年1月1日より2024年8月31日までの間に、南青山アイクリニックにて円錐角膜の診断を受け、角膜クロスリンキング手術を受けられた方

2 研究課題名

承認番号 20251005-1

角膜クロスリンキング再手術症例の検討

3 研究実施機関

南青山アイクリニック

4 本研究の意義、目的、方法

・目的

角膜クロスリンキング（CXL）は、円錐角膜の進行を止めるための有効な治療法です。南青山アイクリニックでは 2007 年から現在まで、円錐角膜症例に対して角膜クロスリンキング（CXL）を行っています。しかし、稀にですが、CXL 手術の後に再度円錐角膜が進行し、2 回目の CXL が必要になる方がいます。今回の研究では、2 回目の CXL が必要になった症例を振り返り、リスク因子や 2 回目の CXL の術後経過の特徴等を見出すことを目的としています。

・方法

年齢、性別の他に手術前後に測定したデータ（自覚的屈折検査、角膜内皮細胞検査、角膜屈折力、前眼部三次元画像解析装置など。以下「対象データ」といいます。）を解析します。この研究のために追加して行う検査はありません。また、今後も通常の手術後に行う定期検

査や診察以外のために来院していただく必要はありません。

対象データは、当院において利用し、**他の**医療機関等への提供はありません。

5 協力をお願いする内容

円錐角膜の診断を受け、角膜クロスリンキング手術を受けられた方に関する診療記録、診断用画像（角膜内皮細胞検査、角膜形状解析検査など）

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認日～ 2028 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報すべてを削除し、**第三者**にはどなたのものかわからない匿名化した情報**として**使用します。
- 2) 患者さんの個人情報と匿名化した情報を結びつける情報（連結情報）は、研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 3) 連結情報は当院内のみで管理し、他には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、対象データ、**診療**記録や診断用画像の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

加藤 直子

南青山アイクリニック

107-0052 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル2階

電話：03-6633-4872 （9時30分～18時、火曜日・祝日月曜定休）

以上